H.22 年度土壌汚染対策法施行状況等に関する調査結果について

The Knights

環境省は、平成 22 年度の土壌汚染対策法の施行状況及び土壌汚染調査・対策事例等に関する調査結果について、平成 24 年 3 月 23 日に公表しました。

都道府県等が把握している平成 22 年度までの土壌汚染調査の事例は、累計で 11,993 件であり、うち土壌環境基準又は指定基準に適合しない事例は、累計で 6,079 件でした。尚、平成 22 年度の調査事例は 1,778 件（法対象は 519 件）で、うち超過事例は 798 件（法対象は 275 件）でした。

これまでの超過事例 6,079 件を項目別に分類すると、揮発性有機化合物（VOC）（第1種特定有害物質）では、トリクロロエチレン（820 件）が最も多く、次いでテトラクロロエチレン（705 件）、ベンゼン（654 件）、シス-1,2-ジクロロエチレン（583 件）が多くなっており、重金属等（第2種特定有害物質）では、鉛及びその化合物（2,920 件）が最も多く、次いでふっ素及びその化合物（1,638 件）、砒素及びその化合物（1,624 件）の順に多い結果でした。

また、平成 22 年度において法第 3 条調査が適用された有害物質使用特定施設は、表面処理施設（69 件）、電気めっき施設（47 件）、洗浄施設（45 件）の順に多い結果でした。

当社では、土壌汚染調査や土壌の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料　2012年 3 月 23 日付　環境省ホームページ

土壌環境箇所　明石康伸

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015 さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

放射性物質の測定を開始しました！

福島第一原発事故を受け、高まる需要にお応えし、放射性物質の測定を開始しました。サーベイメータによる工業製品の表面汚染や、水・食品などの放射能測定、さらに 8 月末からはゲルマニウム半導体検出器を用いた核種ごとの精密測定も開始しています。

お問合せはこちら